

3 まも 暮らしを守る

●川西市では、わたしたちの暮らしを守るために、どのような人たちがはたらいているのか、調べましょう。



↑川西市北消防しよ



↑川西市消防団 第4分団加茂部 消防格納庫

1 火事から 暮らしを守る

つかむ

川西市では、火事から暮らしを守るために、どのような取り組みをしているのでしょうか。



↑消防しよにある標語

川西市の消防の取り組み

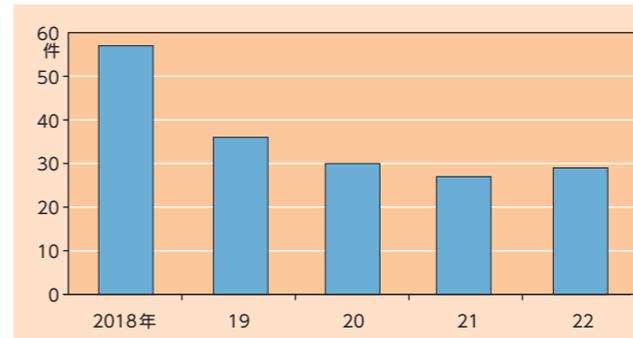
ゆうかさんたちは、消防しよの前を通ったときに、ある標語を見かけました。

「『ココロにボウカ』ってどういう意味なのだろう。」

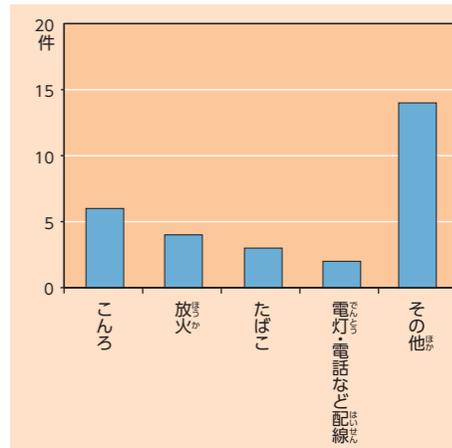
「火事から暮らしを守るために、消防士さんは何をしているんだろうね。」

「そういえば、消防団で活動している人が近くに住んでいるよ。」

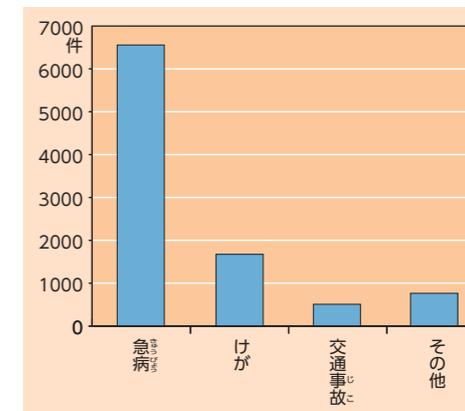
ゆうかさんたちは、川西市では、火事から暮らしを守るためにどのような取り組みをしているのか、調べることにしました。



↑川西市の火災件数 (川西市消防本部資料)



↑川西市の火災の原いん (2022年、川西市消防本部資料)



↑川西市の救急車出動件数 (2022年、川西市消防本部資料)

消防しよ見学メモ

- 見てくること
 - 消防しよではたらく人の様子
 - 消防しよや消防車などのせつび
- 聞いてくること
 - 川西市の取り組みについて
 - 消防しよではたらく人のねがいや思い
 - 消防に関するくふう
 - 見学や説明の中でわからなかったこと

ゆうかさんたちは、川西市の火事についてくわしく知るために、まず近くの消防しよへ見学に行くことにしました。

見学の前に聞きたいことなどをクラスでまとめておきました。



川西市消防本部・南消防しよ



消火訓練の様子

調べる

消防しよの人たちは、どのようなことをしているのでしょうか。



はしご車



救助工作車



救急車の中の様子

消防しよへ行こう

ゆうかさんたちは、川西南消防しよへ見学に行きました。そこでは、たくさんの発見がありました。

消防士さんの話



わたしたちは、どんな時間のかじや事故にもすぐにしゅつどうできるよう、24時間交代ではたらいています。道具やせつびの点検をするだけでなく、市民の命や財産を守るため、真けんに訓練に取り組んでいます。大きなさいがいなどは、消防団や関係機関などと連れいして、協力しながら対応します。

みなさんには、どんなときにも、心のかたすみに防火へのいしきをもっておいてほしいと思います。家族と万が一のときについて話し合っておくことが、命を守るために大切です。



宝塚市、川西市および猪名川町からの119番通報は、全て宝塚市消防本部内にある消防指令センターにつながります。



宝塚市・川西市・猪名川町 消防指令センター
2市1町の指令員が勤務
通報が入ると、指令台の画面に、通報の住所や地図が表示されます。

出動指令



出動指令を受けた出動隊は、車両運用端末装置などの指令情報・地図情報などをもとに、最短時間で災害現場へ出動します。

災害現場



出動隊は、各種支援情報などをもとに的確に消火や救助、救急活動を行います。

119番通報の流れ [宝塚市・川西市・猪名川町消防指令センター]

- 「いつでも火事に対応できるようにしているんだね。」
- 「ふだんから、チームワークを大事にしていることもわかったよ。」
- 「119番通報をしたら、宝塚市の消防指令センターにつながるんだね。」
- 「わたしたちの中にしっかりと『ココロにボウカ』の意しきをもっておかないとね。」

車両の種類	配置しているところ							
	ふじポンプ車	水そうつきポンプ車	はしご車 35m級	化学車	救助工作車	救急車	指揮車	
総数	5	3	1	1	2	5	2	
本部								
南しよ	本しよ	1	1	1		1	2	1
	くしろ久代	1			1			
北しよ	本しよ	1	1				1	1
	せいわたい清和台	1				1	1	
	ただ多田	1	1				1	

単位：台

消防車両などの配置数 [2023年、川西市消防本部資料]

はしご車があるところはどこかな。



きんすけくん
「ココロにボウカ」の意しきをみんなに根づかせる救世主として、防火のキャラクターであるきんすけくんがたん生しました。

調べる

火事からくらしを守るために、地いきではどんな取り組みをしているのでしょうか。

消防団

消防しょとともに、火事や災害から地いきの人々を守ったり、火事や災害を予防したりする活動をしています。兵庫県は、消防団員の数が日本でいちばん多い県です。また、川西市の消防団は、江戸時代の火消し役からつづく長い歴史があります。



消防団の訓練風景



地区のデザインが入った消防車

川西市の消防団

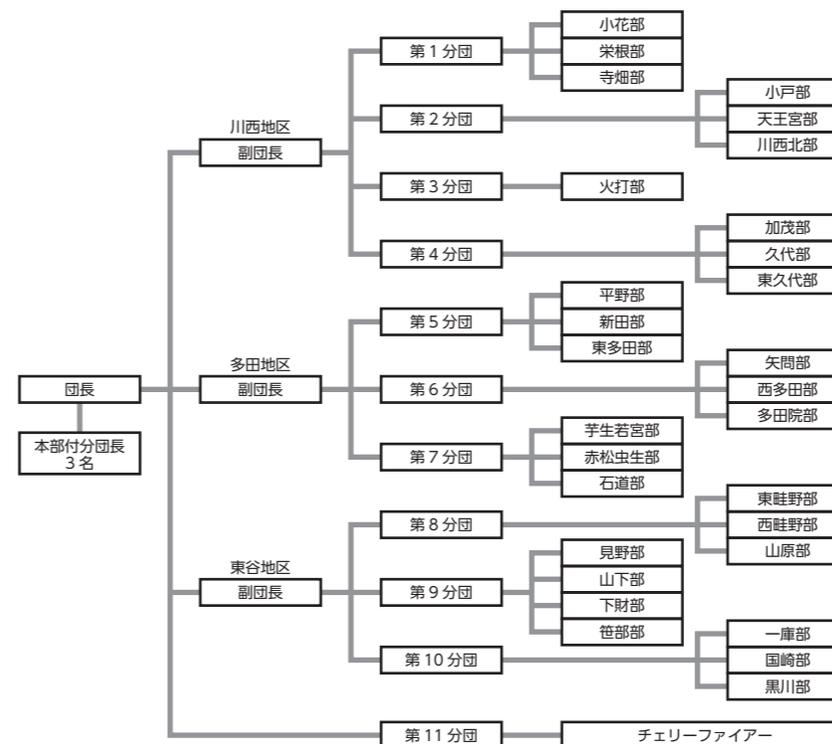
ゆうかさんたちは、消防しょ見学で、火事からくらしを守るために、いろいろなところが協力していることを知りました。その中で、地いきで自ら活動している消防団にきょうみをもちました。そこで、まおさんの近くに住んでいる消防団の人に話を聞くことにしました。

消防団の人の話



消防団には、家族のすがたを見て入った人や、友人のしょうかいなどで入る人が多いです。消火活動だけでなく、地震や台風など、あらゆる災害からみなさんを守る活動をしています。わたしたちは、ふだん別の仕事をしているため、主に土曜日や日曜日に訓練をしています。

仕事であっても、出動要請があれば、ただちに出勤します。消防団がなければ、自分たちのまちを自分たちで守ることができなくなるという思いで活動しています。みなさんも、大きくなったら勇気をもって、助ける側に回ってくれたらと思います。



消防団の組織図

	男	女	合計
消防しょ	150人	11人	161人
消防団	346人	24人	370人

消防しょ員と消防団員の人数
※再任用は除く。[2023年、川西市消防本部資料]

人数は消防団のほうが多いね。

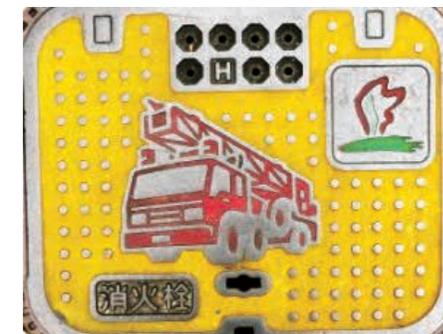


チェリーファイアー

女性も消防団活動にさんかできることをPRするため、女性だけの分団として1993(平成5)年にたん生しました。防火指導や救急講習会などの市民指導をはじめ、花火大会など市内で開催されるイベントの警備などはば広い活動をしています。



チェリーファイアーの活動



消火せん



「地いきのために、はたらきながら訓練している人たちが、川西市にはたくさんいるんだね。」



「昔から、自分たちの住むところは自分たちでしっかりと守ろうとしているなんて、知らなかったよ。」



「地いきの一員として、わたしたちにできることも、きっとあるんじゃないかな。」

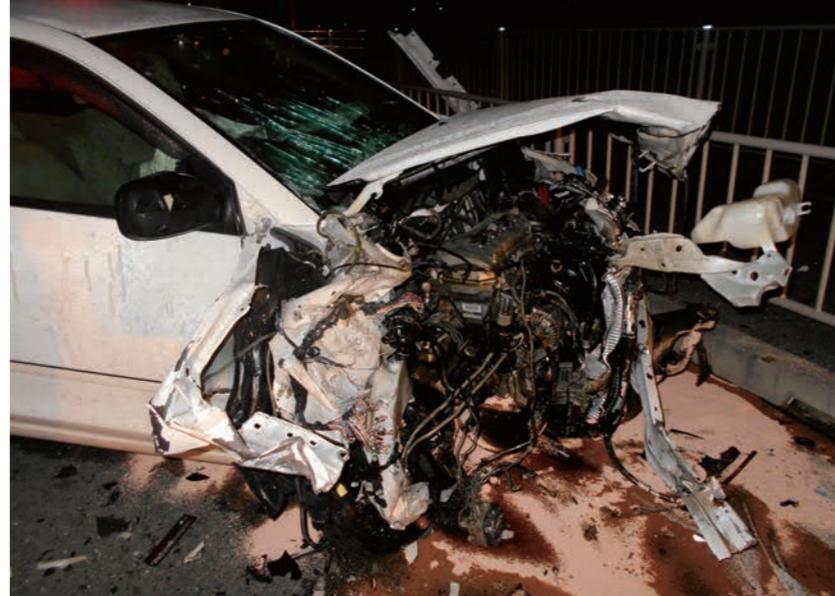


「学校やまちの中のせつびなどは、どうなっているのかも気になるね。」

2 事故や事件から くらしを守る

つかむ

事故や事件からくらしを守るために、けいさつの人はどういう仕事をしているのでしょうか。



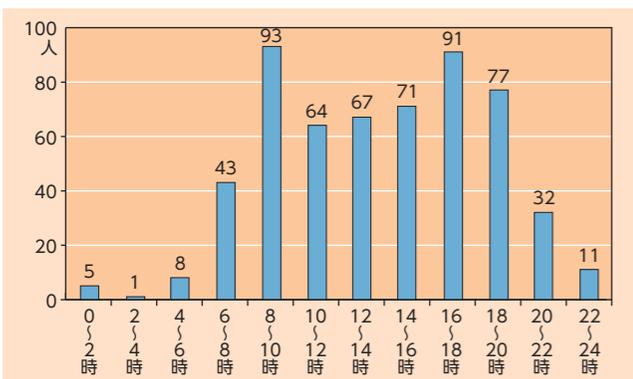
↑ 交通事故 (写真: 兵庫県警察)

● 川西市の交通事故の数

人がけがをしたり死んだりする事故	563
車やたて物がこわれる事故	3108
計	3671

● けがをしたり死んだりした人 630人

[2022年、川西警察署資料]

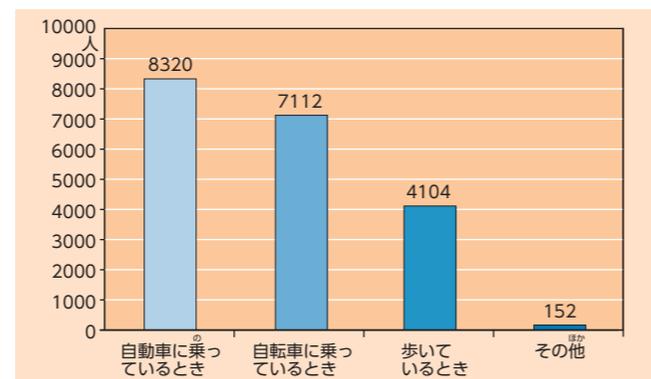


↑ 川西市の時間帯別の交通事故数
[2022年、川西警察署資料]

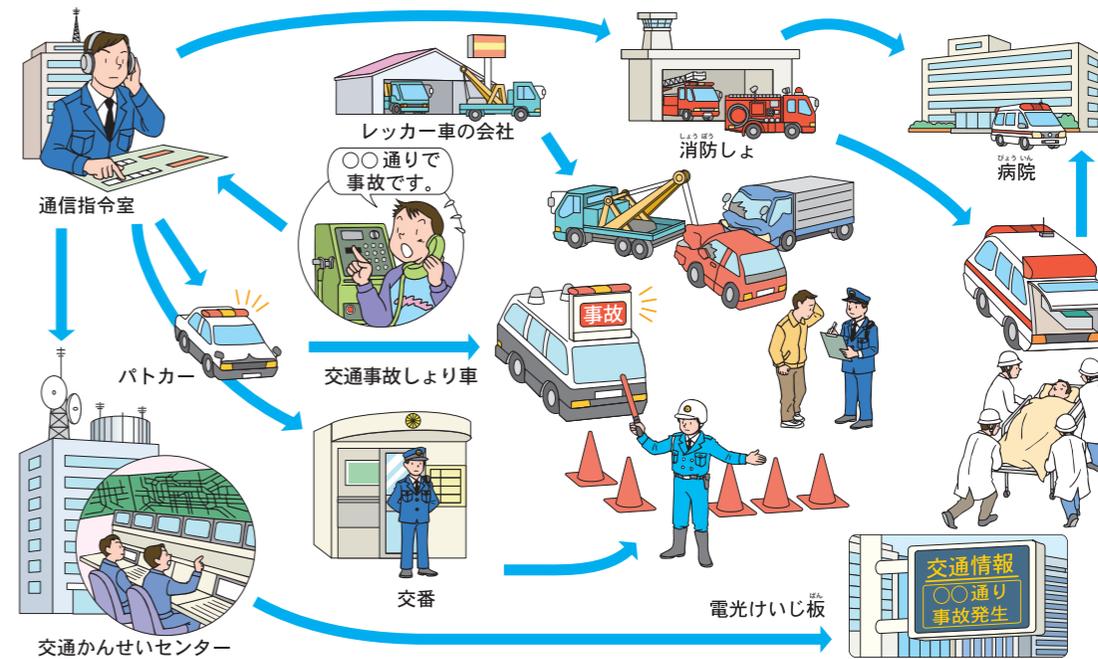
事故に気をつけよう

わたしたちの身のまわりにある自転車や自動車などは、生活の中で大切な役わりをしていますが、命をうばう事故につながることもあります。

ゆうかさんたちは、交通事故について調べることにしました。



↑ 全国の交通事故負傷者数(0~14才)
[2022年、警察庁資料]



↑ 通信指令室からのれんらくの流れ

事故が起きたら

電話で110番にかけると、最初に神戸市にある兵庫県けいさつ本部通信指令室につながります。110番通報を受け取った通信指令室では、次のようなことをたずねます。

- ① 事件ですか。事故ですか。
- ② どこでありましたか。
- ③ いつごろですか。
- ④ 今どうなっていますか。
- ⑤ あなたの住所・名前・電話番号を教えてください。

そして、いちばん近くのけいさつしょ、パトカーに事故の現場にすばやく向かうようにれんらくしています。

調べる

電話で110番にかけると、事故の知らせはどのように伝わるのでしょうか。



↑ 通信指令室 (写真: 兵庫県警察)

調べる

けいさつの仕事は、わたしたちの生活とどのような関係があるのでしょうか。



兵庫県川西けいさつしよ



兵庫県けいさつシンボลมスコットのまもりちゃん(左) こうへいくん(右)
[イラスト: 兵庫県警察]



川西市のけいさつしよと交番の位置

地いきのけいさつ

川西市には、中心となる川西けいさつしよのほかに交番が11あります。けいさつでは事故の対応だけでなく、パトロールをしたり、安全教室を開いたり、いろいろな仕事をして地いきの安全を守っています。

安全を守る仕事

けいさつかんは、わたしたちが安全に過ごすための仕事をしています。けいさつかんの仕事について聞いて調べました。



「まちの交番で道をたずねたことがあるよ。」



「ほかにどんな仕事があるのかな。」

けいさつかんの主な仕事

交通い反の取りしまり

交通のさまたげになるちゅう車い反やスピードの出しすぎの取りしまりをします。走る車を止めて、シートベルトをするよびかけもします。

事件のかいけつ

あつてはこまりますが、事件が起きたらそのかいけつに全力を注ぎます。

防犯のよびかけ

1けんごとにほうもんすることもあります。町内会や会社、学校で行われる訓練にさんかすることもあります。

まちの見回り (パトロール)

パトカーでまちの様子を見て回ったり、家庭へほうもんしたりします。電話を受けて相談に行くこともあります。

道あんない・落とし物の相談

道にまよっている人や、落とし物をしてこまっている人の相談にのります。



安全教室の様子





↑ 学校安全ボランティア



↑ こどもをまもる110番のおうち



↑ こどもをまもる110番のおうちマップ



↑ 交通安全運動



↑ 安全マップづくり



↑ 防犯パトロール

調べる

わたしたちの身のまわりにある、わたしたちの安全を守ってくれるものをさがしてみましょう。

法やきまり

たとえば、交通に関する法やきまりは、安心して毎日を送るためにひつようなものの一つです。より安全な生活のために、法やきまりをみんなで考え、大切にしていくなかで努力が欠かせません。

安全なまちづくり

わたしたちのまちには、交通事故をふせいだり、きけんから身を守ったりするためのせつびがたくさんあります。

また、けいさつだけでなく、地いきの人たちが協力しながら安全なまちづくりのためにいろいろな活動をしています。

みなさんも、交通事故やきけんから身を守るためにどんなことをしたらよいか考えてみましょう。

まちの安全マップをつくろう

安全なまちづくりのために、わたしたちができることを考えてみましょう。

- 1 あぶない場所について考えよう。
- 2 グループをつくり身近な地いきを調べよう。

学校みんなや家の人、地いきの人たちにアンケートをして聞いてみたよ。



- 3 安全マップをつくろう。

安全マップに書きこんでみよう。

- 通学路 わたしたちが、安全に登校や下校ができるように、学校の近くには通学路が決められています。
- こどもをまもる110番のおうち いざというときに子どもたちが助けをもとめられる家や店のことをいいます。

写真はったり、絵をかいたりすると、よくわかるね。



わかりやすいようにマークを決めておくといいね。右の地図の○じるしは、こどもをまもる110番のおうちだよ。



身近な地いきの安全について調べています。アンケートにご協力おねがいします。

①地いきの中で「あぶないな。」と思う場所について教えてください。

②地いきの中で「あぶないな。」と思うけいけんをしたことがありますか。

はい ・ いいえ

③「はい」の人は、そのときどのようにしましたか。

④「いいえ」の人は、自分があぶないことにまきこまれないようにするためにはどうすればよいと考えますか。

↑ アンケートの例



↑ まちの安全マップ